



練馬区独立70周年イベント

「みどりの風 練馬薪能」を初開催！

～「みどりの風 区民コンサート」も同日開催～

と き	10月10日(月・祝)「みどりの風 区民コンサート」午後1時30分～4時 「みどりの風 練馬薪能」 午後5時～8時
と ころ	石神井松の風文化公園(石神井台1-33-44)

練馬区は10日、練馬区独立70周年イベントとして、区では初めてとなる「みどりの風 練馬薪能」を石神井松の風文化公園で開催した。有料席の他、立見席やパブリックビューイングも設けられ、合計2,200人が来場した。

午後5時に開演した「練馬薪能」には、重要無形文化財総合指定保持者の梅若万三郎さん、人間国宝で名誉区民の野村万作さん、そのご子息の野村萬斎さんをはじめ、日本を代表する演者の競演が実現した。

薪の明かりに照らされた幻想的な舞台では、狂言「二人袴」と能「船弁慶 前後之替」が演じられ、満席の客席では、観客が幽玄の世界に酔いしれていた。

観覧した大泉町在住の女性は「薪能は独特な雰囲気、とても厳かな舞台でした。来年もぜひ鑑賞したいです。」と興奮気味に話していた。



能「船弁慶 前後之替」の様子



狂言「二人袴」の様子

【練馬区ゆかりの能楽師が多数出演！】

「みどりの風 練馬薪能」は、重要無形文化財総合指定保持者の梅若万三郎さん・泰志(やすし)さん・志長(ゆきな)さんの三世代と、人間国宝で名誉区民の野村万作さん・萬斎さん親子二世代が共演。また、仕舞の松木千俊(まつき ちとし)さん、武田尚浩(たけだ なおひろ)さん、宝生欣哉(ほうしょう きんや)さん(ワキ)、一噌幸弘(いっそう ゆきひろ)さん(笛)、柿原崇志(かきはら たかし)さん(大鼓)など、練馬区にゆかりのある能楽師が多数出演した。

【多くの区民が秋の一夜を満喫！】

有料席の後方に設置した無料の立見スペースにも、約700人の観客が薪能を楽しんだ。また、会場内「松林のひろば」に200インチの大型ビジョンを設置。薪能のライブ中継を行い、親子連れから能楽ファンまで、多くの方が秋の一夜を楽しんだ。



能「船弁慶 前後之替」の様子

【同日開催「みどりの風 区民コンサート」】

午後1時30分から開演した「区民コンサート」では、プロデューサーに地元石神井出身のバイオリニスト西谷国登(にしたにくにと)さんを迎え、「石神井囃子連」など石神井を中心に活躍する区民団体による野外コンサートを開催。フィナーレでは、オーケストラ、地元中学校の吹奏楽部、新体操のコラボレーションでステージを盛り上げた。



「みどりの風 区民コンサート」フィナーレの様子